



中学生が下水道見学

下水道は、快適な生活をおくつていただくために欠くことができません。富士市が下水道事業に着手したのは昭和34年で、

現在では下水道管の埋管も 38707 延米にもおよんでいます。しかし、この下水道を使用しているのは吉原地区の一部にすぎませんから、富士地区でも都市下水道事業をすすめています。

この下水道をより多くの人に知ってもらおうと、市下水道課では9月10日の下水道促進デーには、市内の中学校の新聞部の生徒に下水道施設を見学していただきました。